◎ 科目名/Subject	文化理解
──曜日・講時・教室/Day/Period/Place	前期 水曜日 2講時 川北キャンパスC204
◎ 科目群/Categories	全学教育科目先進科目-国際教育
● 単位数/Credit(s)	2
◎ 対象学部/Object	全
担当教員(所属) /Instructor (Position)	上原 聡 所属:高度教養教育・学生支援機構
● 開講期/Term	1/3/5/7セメスター
● 科目ナンバリング ○ /Course Numbering	ZAC-GLB804J
使用言語 /Language Used in Course	日本語
● メディア授業科目 「Course of Media Class	

授業題目 / Class Subject	【国際共修】日本語の文法を外から見て考える(日本語) / Japanese Language in Contrast −International Co−learning Seminar− (Japanese)
授業の 目的と概要 (例 / Object and Summary of Class	日本語を母語としない留学生が日本語を学ぶ際に理解や習得が難しいとされる文法項目を取り上げ、それをどのように理解し、どのように説明できるかを考える。時に他の言語との対照を通して、日本語の言葉のしくみや使い方の特徴について考える。同時に、日本語を主たる材料として、言語学の基本的な概念も学ぶ。 /International and Japanese students will consider the characteristics of structure and usage in the Japanese (and sometimes the international students' native) language. We will address grammatical patterns that are difficult for non-native Japanese learners to grasp and use correctly, and discuss how to explain them clearly with the Japanese students. The international students will discuss how Japanese is different from or similar to their native languages, and deepen their understanding of its structure and cultural background.
学修の 受 到達目標 /Goal of Study	 ・日本語母語話者が意識せずに使用している日本語について客観的に意識的に捉えられるようになる。 ・言語について考えるための基本的な概念や用語を日本語や留学生の母語の言語を通して具体的に理解する。 ・日本語を母語としない留学生が日本語のどんなことが難しいと思うのかについて知り、どのような説明ができるかを考えられるようになる。 ・日本語の文法だけでなく、使い方の特徴について考える。 ・言語について考えるための基本的な概念や用語を学ぶ。/―Learn to consciously recognize Japanese expressions, and expressions in the international students' languages, that native speakers use unconsciously. Gain a specific understanding of basic concepts and terminology needed to consider linguistics through Japanese and the international students' languages. ―Learn what aspects of Japanese are difficult for international students and consider how to explain them. Consider Japanese usage as well as grammar. ―Learn basic concepts and terminology needed to study linguistics.
授業内容・ 方法と 作を予定 (Contents and Progress Schedule of the Class	留学生にとっての正しい習得や日本人学生にとっての説明が難しいと思われる日本語の文法項目(助詞や敬語他)や日本語的な文章の組立て方などについて、講義だけでなく、授業中に「日本語について場合によって母語話者よりも良く知っている)留学生と話し合ったり、留学生の母語について話をしてもったりして、考えや疑問を出し合ったりしながら進めていく。受講者には積極的な参加が求められる。[以下はオンラインの授業を想定。対面の授業が可能な場合は変更の可能性あり。] 第1回 オリエンテーション 第2回 授業開始 文法項目(助詞など)についての話し合い 第4回 文法項目(助詞など)についての話し合い 第4回 文法項目(助詞など)についての話し合い 第5回 文法項目(助詞など)についての話し合い 第5回 文法項目(助詞など)についての話し合い(日本語+留学生の母語) 第7回 留学生の言語についての発表、文法項目(助詞など)についての話し合い 第8回 留学生の言語についての発表、文法項目(助詞など)についての話し合い 第9回 留学生の言語についての発表、文法項目(敬語など)についての話し合い 第1回 文法項目(敬語など)についての話し合い 第11回 文法項目(敬語など)についての話し合い 第11回 文法項目(敬語など)についての話し合い 第11回 文法項目(立いての話し合い) 第15回 対法項目についての話し合い(日本語+留学生の母語) 第16回 対法項目についての話し合い(日本語+留学生の母語) 第17回 文法項目についての話し合い(日本語+留学生の母語) 第18回 マ法項目についての話し合い(日本語・留学生の母語) 第19回 京法項目についての話し合い(日本語・田学生の母語) 第19回 京法項目についての話し合い(日本語・田学生の母語) 第11回 対法項目についての話し合い(日本語・田学生の母語) 第11回 対法項目についての話し合い(日本語・田学生の母語) 第12回 文法項目についての話し合い(日本語・田学生の母語) 第14回 文法項目についての話し合い(日本語・田学生の母語) 第15回 期末筆記試験
成績評価 方法 /Evaluation / Method	最終試験(30%), 課題レポート提出(30%), 出席及び授業中の発表・参加度(40%) [対面授業がどの程度できるかにより、変更の可能性あり。]

		/Report or final exam (30%), Homework reports (30%), Attendance and in-class presentations/participation (40%) [Subject to change depending on the number of meetings when face-to-face classes can be held.]
@	教科書 および 参考書 /Textbook and References	
0	関連URL /URL	
0	授業時間外 学修 /Preparation and Review	留学生の言語についてグループで日本語との共通点・相違点を調べ、発表の資料を準備する。 課題レポートを書く(3回)。 /Make group discussions and prepare for a group presentation on the native language of the group's international students. Write three (mid-term, group, and term-final) reports.
@	実務・ 実践的授業 /Practical business ※Oは、 実務・実践的 授業であることを示す。 /Note: "O" Indicates the practical business	
@	授業への パソコン 持ち込み 【必要/不要】 / Students must bring their own computers to class [Yes / No]	(対面が可能で対面で授業に参加する場合は)必要 Yes (when allowed to attend the class in the classroom)
0	連絡先 (メール アドレス等) ※Emailは@ の置き換え に注意 /Contact (Email, etc.)	E-mail∶uehara⊚he.tohoku.ac.jp(⊚を@に置き換えてください/Use ″@″ in place of ″⊚″.)
@	その他 /In Addition	授業実施形態 この授業は、初回を含め数回はオンラインで行う。その後可能であれば、完全対面の授業に移行する。コロナ感染状況により再び完全オンラインに移行する可能性あり。 /This class can be taken only online for the first few classes at least, after which it can be taken in-person in the classroom, if circumstances permit. There is a possibility of moving to full online again due to the corona infection situation. 外国人留学生等を対象とする日本語教育プログラムのクラスと合同で行う。使用言語は日本語。ゼミ形式で行うため、留学生および日本人学生の数を制限することがある。受講希望者が多い場合は、初回に行うアンケート調査への回答にもとづき受講者を選定する予定。留学生は東北大学実施の日本語レベル判定テストでレベル5以上が条件。 /This class will be conducted in Japanese. For international students, Tohoku University Japanese level 5 or above is required to be eligible for this class.
0	更新日付 /Last Update	2023/01/18 18:19

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要となる学修時間の目安は、「講義・演習」については15~30時間に授業および授業時間外学修(予習・復習など)30~15時間、「実験、実習及び実技」については30~45時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)15~0時間です。
One-credit courses require 45 hours of study. In lecture and exercise-based classes, one credit consists of 15-30 hours of class time and 30-15 hours of preparation and review outside od class. In laboratory, practical skill classes, one credit consists of 30-45 hours of class time and 15-0 hours of preparation and review outside of